

海外サマーコース参加者留学生 報告書

※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	シンガポール大学 (国名: シンガポール)	
参加プログラム名	NUS Summer Programme 2008	
プログラム期間	2008年7月14 ~ 2008年7月25	
学部/学府・年次	経済学部・4年	年次

参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → (有) 無 「有」の場合、免除額を記入してください (SGD\$ 700)
	航空運賃はいくらかかりましたか? (68,955)
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舍費、オプションの見学旅行など) 全ての費用を含め SGD\$ 1,800
このプログラムを選んだ理由	シンガポールという国に行ったことがなかったから、 また英語圏でもあり、Entrepreneurship という ことでとても面白いから
進路の予定	① 就職 (時期: 4月から / () 月から) ② 大学院進学 ③ その他(具体的に:)

1. 参加プログラムと大学について

プログラム(カリキュラム等)の概要について

基本的に午前2コマの授業があり、昼からはバスで会社訪問をしました。5時以降は基本的に自由時間でした。日曜日が1日だけ完全にフリーでした。観迎の食事会、closing lunchなどもありと2も充実した毎日が過ごせました。最終日にはGroupごとにPresentationを行いました。

主催大学のサポート体制について
(語学面/勉強面/精神面/住居・生活面など)

語学については最初からある程度できることを前提として進められます。会社訪問や観光などのプログラムはニカポール大学の学生が企画や誘導してくれて非常に親切でした。
クーラーは部屋にはありませんが、大きなファンが置いてあり問題なく過ごせました。またトイレ、シャワー室などは毎日掃除されてきれいでした。

プログラムおよび大学に対する感想

大満足の2週間を過ごすことができて良かったです。正直、授業は教授が中国人やインド人だったりしてなかなか聞きとりづらい面もありました。また会社訪問は退屈している人が多かったように思います。しかし何よりたくさん海外の学生と交流できたことが最高の思い出になりました。最後は皆と別れるのが本当に辛かったです。もっと早い学年から知り、いろんなプログラムに参加したかったです。本当に最高でした。

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>自分が一番伝えたいこと(非)耳にすかしがらずに積極的に交流するべきだということです。初めのうちは海外の人はかなり英語が得意のように思えるかもしれませんがすぐに追いつけます。日本人は少数派で心細い時もあるかもしれませんが、その分すぐに賞えてもらえます。恥を恐れず是非自分から飛び込んでいって下さい。そうすれば最後に最高の思い出がでるはずですよ。日本の代表として頑張ってください。</p>
-------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)

<p>ビザの種類</p>	<p>なし</p>
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	

3. 日常生活

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>いろんな国の食べ物があり、どれもとても美味しかったです。お土産等買うなら CHINA TOWN や LITTLE INDIA が安かったです。夜は毎日いろんな学生と語り合、ていまして 本当この72グループに参加して良かったです。しかし同時に自分の勉強不足を痛感しました。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>学食で食費の2割あれば一回の食費は4~5\$で十分です。交通費は大体主要スポットはバスで連れていってもらうのであまり必要ありませんでした。</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	PC、変圧器は絶対に持って行くべき。無線LANが使えます。それ以外は大体学内の Supermarket で揃えられます。
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	クラブに他の学生と行くたりと夜出歩いたこともありましたが、特に不安に感じたことはありませんでした。ちなみに Taxi は日本に比べかなり安いです。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	2週間という短い期間なのでそんなに大金を使うことなく、最初に準備していた額で充分でした (3万円分くらい)。念のためクレジットカードもあれば便利がもしれません。

4. 宿舎、生活環境

宿舎の種類(○印をつける)	・ <u>大学の寮</u> ・ホテル ・その他()
立地	学内
伝えたい地域情報、生活情報	2Fに クーラーがまいていて、話ができる Common room があります。是非自分の部屋にエアコンも欲しい、exchange student などいろいろな国の人がいるので、是非自分から話かけて交流をしてみるととてもいい思い出がでると思います。自分は英会話の練習と思い、いろいろな人と交流しました。

5. その他の特記事項

--